

ピコフラクショナル治療同意書

当院で使用するピコレーザーのエンライトン SR スパックは、波長 532/1064nm、パルス幅 750psec となっていますが、この 750psec というパルス幅がピコ秒レーザーに特有の衝撃波による光音響作用と従来の Q スイッチレーザーにみられる光熱作用が程よく組み合わせることで、色素性病変に対してできるだけ周囲組織へのダメージを減少しつつ、ターゲットであるメラニンのみを細かく破壊することを実現しています。

ピコフラクショナル

1064nm 波長の光を高出力で施術部位に照射します。

衝撃波による真皮上層の組織損傷の創傷治癒効果によるリジュビネーション効果で毛穴の開き・小じわ・ニキビ痕・ニキビ癬痕などの凸凹をなだらかにする治療です。

治療間隔

施術間隔は2～4週間間隔で1クール 10 回程度の治療が必要となります。※どの程度、施術が必要かは個人差がありますのでご了承下さい。

治療経過 ダウンタイム

- ・麻酔クリームを使用しても部位によっては強い痛みを感じることがあります。
- ・治療直後から照射部位に日焼けのような赤い腫れがでることがありますが、数日で治まります。また、ヒリヒリ感、熱感が数時間続くことがあります。個人差がありますが、点状出血や水疱形成がでることがあります。
- ・肌の状態によっては照射後から数日間～1週間程度、照射部位が日焼け後のように赤黒くなることがあります。稀に色素沈着が生じることがありますが、時間とともに消退していきます。必要な場合は医療用の美白剤を処方致します。

合併症

起こりうる合併症として、熱傷・水泡形成・色素沈着・ニキビ・毛包炎などがあり、起こった際は保険での診察、外用処方とさせていただきます、ご了承ください。

アフターケア

- ・治療当日はシャワーのみ可、入浴は翌日より可能です。治療後 24 時間は化粧水や乳液なども刺激を感じた場合は使用を控えて下さい。
- ・照射後から数日間はカサブタができます。数日～1 週間たつと自然に剥がれますので無理にこすったり剥がさないでください。
- ・治療後 2 週間はピーリングやレチノイン酸、ディフェリンの治療、AHA配合化粧品、角質除去剤、アルコールなどの刺激の入った洗顔料や化粧品、洗顔ブラシ、カミソリでのお手入れはお止めください。
- ・施術後はしっかり保湿して下さい。治療後 1 ヶ月は日焼け厳禁です。日中は必ず日焼け止めを使用して紫外線を防止してください。
- ・他の施術との間隔は最低 2 週間あけて下さい。

禁忌事項

- ・炎症のある皮膚 ・重度の心疾患をお持ちの方 ・糖尿病など創傷治癒に問題のある方 ・妊婦
- ・皮疹やヘルペス発疹のある方 ・日焼けしている方 ・照射部位に除去希望以外のアートメイクや刺青がある方
- ・リウマチなどで金製剤(シオゾール、グレリース、リザスト、リドーラなど)を一度でも使用した事がある方。
- ・照射部位に金の糸が入っている方

【肝斑治療をされている方へ追記】

- ・まれに肝斑が増悪することがあります、増悪した場合は施術を中止し内服治療や外用治療へご案内させていただきます。
- ・赤み・熱感などの症状が残っている場合は、様子を見ながら外用を再開して下さい。
- ・保険治療で、肝斑に対しての内服治療(ビタミン C・トラネキサム酸)も行なっております。

料金

【医師施術】鼻5×5cm:税込み 11,000 円 両頬:税込み 24,200 円 全顔:税込み 27,500 円

【看護師施術】全顔:税込み 12,100 円

ピコトーニングとの併用 全顔:税込み 22,000 円

※麻酔クリーム 希望の方は別途 3,300 円

私は上記内容及び治療に伴うリスクを含めて理解・確認し、納得した上でレーザー治療を受けることに同意いたします。

年 月 日

氏名

保護者氏名(未成年の場合)